

ほっと NEWS

ここを支える、ここで支える

CONTENTS

■特集 地域の課題解決に取り組む

■NEWS & TOPICS

- ・放課後児童クラブ運動あそび交流会
- ・地域の高齢者向けの健康運動教室
- ・大津少年鑑別所を訪問
- ・在日外国人支援事業に参加

■特別クラブの前期結果報告

■突撃！研究室訪問 Vol.14



ひと × ところ × 地域



HOCKEY 男子ホッケー部
 5位 関西学生ホッケー春季リーグ(1部)
 ①立命館 ②関西学院 ③朝日 ④天理 ⑤聖泉大
 全日本大学ホッケー王座決定戦
 ベスト8 ①天理 ②立命館 ③山梨学院 ④法政 ⑤~⑧聖泉・明治・朝日・福井工大



HOCKEY 女子ホッケー部
 4位 関西学生ホッケー春季リーグ(1部)
 ①天理大 ②立命館大 ③関西学院大 ④聖泉大
 全日本大学ホッケー王座決定戦
 ベスト8 ①山梨学院 ②東海学院 ③立命館 ④天理 ⑤~⑧聖泉・駿河台・関西学院・東京農業



SOCCER 女子サッカー部
 関西学生女子サッカー春季リーグ(2部) **優勝**
 ①聖泉大 ②京都市教大 ③明治国際大 ④関西大 ⑤立命館大 ⑥京都教育大 ⑦兵庫教育大
2部優勝 秋より1部昇格



産業カウンセラー資格取得のための勉強会



脳本ゼミ 実践型課題解決プロジェクト

突撃取材！研究室訪問

第14弾の研究室訪問は、人間心理学科ビジネス心理領域の脇本忍准教授をご紹介します。インタビュー形式でお届けします。

脇本 忍 准教授
 人間心理学科 ビジネス心理領域

専門は「社会心理学」です。社会心理学は、人と社会とが影響し合う相互作用を明らかにする学問です。第1に、社会における人の態度・感情・認知などに注目する個人領域。第2は、対人関係や対人魅力など恋愛やコミュニケーションの領域。第3は、集団の凝集性やリーダーシップなどグループダイナミクスという領域。そして、第4が、社会現象や流行現象などの世の中全体の価値観や風潮に関心を示す領域です。ミクロからマクロまで対象は広いのですが、言い換えれば、私たちの日常生活すべてが社会心理学の研究対象になります。ですから、いかにオリジナリティの高い視線で対象にアプローチできるかが難しくも、そこが社会心理学研究のワクワクするところ。

森 先生のご専門について、お聞かせください

脇本 主に、実験法と質問紙法で収集したデータを解析する対人関係周辺の実証研究を続けてきました。二者間の相性の視点からは、恋愛という対人関係に興味があります。恋という不確定で保証のない破局と背中合わせの状況に、人は命をかけることもあり、強化理論だけでは説明がつかないところが魅力なのかもしれません。

森 最後に、高校生にむけて、メッセージをお願いします

脇本 「自分さがし」などという言葉が流行っています。プラブラしていることも肯定してくれる便利な言葉です。そんな非生産的な4年間を許されるのが大学生です。しかし、社会人のように「本職」を持たず、何にでもトライできることが4年間許されることは今後の人生にとって有効な武器であり財産です。打算に陥らず、最もあなたの好奇心を刺激する学問に取り組んでください。人生における貴重な時間になるでしょう。

森 具体的にどのような研究をされていますか？

脇本 ともかく、学生諸君には、地元だけに留まらずに海外も国内もいろんな地域に行つて体験してほしいです。多様な価値観と出会ふことは、座学で知識を獲得する以上に大切かもしれません。必ず広い人脈や情報脈が育ち、学生の将来を支えます。

森 学生の教育活動については、いかがでしょうか？

脇本 そんなことから、私のゼミでは春から1年間、実践型課題解決プロジェクトに参画し、企業への新製品開発や販売促進計画を社会心理学的手法で提案し、大阪と京都の他大学との競合に取り組んでいます。真実に準備ができれば、失敗して恥をかいてもいいと思っています。しかし、彼らは一回り大きくなれると確信しています。

(インタビュー)

人間心理学科 脇本 忍 准教授

聖泉大学のイベントや入試などの情報を発信！

LINE@ seisen_univ

LINEの「友達追加」から「ID検索」または「QRコード」で登録してね♪

聖泉の旬な情報が満載！

公式 face book

https://www.facebook.com/SeisenUniversity

※ログインなしでも閲覧いただけます

季刊誌のバックナンバーは公式ホームページで公開中！

http://www.seisen.ac.jp/

発行日 / 2016年9月21日
 URL / http://www.seisen.ac.jp/ Email / nyuush@seisen.ac.jp TEL / 0749-437511 FAX / 0749-435201

学生と地域との関わりを大切にしています

Pick up 特集 地域の課題に取り組む「プロジェクト演習」

1. プロジェクト演習とは・・・

学生自らが、地域の関係機関や市民と協働して、社会や地域の課題解決を目指した事業（プロジェクト）に取り組む授業です。本授業の目標は、受講生自身が主体的に「課題分析」「活動計画の策定」「活動に参画」「活動報告」することを通して、社会人基礎力を身につけることにあります。

- 1 チームで協力して活動する。
- 2 社会・地域の課題を分析し、課題解決に向けた具体的な計画を策定する。
- 3 課題解決に向けた活動に積極的に参画する。
- 4 活動の成果、課題、学んだこと等をまとめ、報告する。
- 5 人間力・社会人基礎力を向上させる。

2. 実際の活動について（平成28年度プロジェクト演習）

～主権者教育プロジェクト～「模擬投票ワークショップ in 米原高校」

平成28年7月6日（水）、滋賀県立米原高校3年生を対象とした出前授業を実施しました。プロジェクト演習（富川拓准教授担当）の受講生を中心に、米原市・米原市選挙管理委員会と連携して企画したものです。生徒のみなさんの政治や選挙への関心を高めるために、選挙に関するクイズを作成したり、学生が架空の立候補者を演じる「模擬投票」を実施して、自らの投票行動を振り返るグループワーク等を行いました。また、出前授業終了後は、JR米原駅前で行われた「第24回参議院議員選挙一斉街頭啓発活動」にも参加しました。



学生ボイス

模擬投票ワークショップに参加して

小澤 和也（人間学部 人間心理学科 4 回生・岐阜総合学園高校出身）

公職選挙法が変わり、若者の有権者が多くなりました。それに伴って18歳以上の若者にも自分は有権者だということを自覚することを目的に出前講座という形で授業を行いました。どうすれば選挙について興味を持ってもらえるかを考え、まずアイスブレイクを行い、知識を得られるようにして架空の立候補者による演説を行い投票をするという実際の現場に近い形で授業を進めていきました。

私たちの活動が今後の選挙に活かされ、米原から全国へ広がり若者の意識が今より向上していけばと思います。思いこれからも出前講座を行っていききたいと思います。



NEWS & TOPICS 01 健康運動心理領域

稲枝東・北小学校放課後児童クラブ運動あそび交流会

このたび、NPO 法人のびっこクラブ様より依頼があり、スポーツを取り入れた遊びの企画・支援を人間学部炭谷准教授と健康運動心理専攻所属の学生3名が行ないました。今回は2校の交流と共に小学1年生から6年生までの発達段階が異なる児童約百名が対象のため、全ての子供たちが工夫をしながら楽しめる内容にするよう、何日も前から様々な企画や運営方法を考えてきました。また、当日の一日限りではなく、今後とも出来るような運動遊びを考えました。当日は、本学教員・学生の指導のもと、二つのクラブの全ての学年が交流できるように工夫し、4グループのチーム対抗のニュースポーツの運動会を実施しました。子ども達は夢中でかけ回り、声を上げて楽しんでいました。学生達は、子ども達が楽しみながらも様々な工夫や助け合い等の気づきが得られるようにサポートしました。一度に百名の児童をサポートするのは、人数も多く大変でしたが、学生たちにも多くの学びがありました。



紙飛行機の作り方の説明



ボールリレーのやり方を実演

NEWS & TOPICS 02 健康運動心理領域

地域の高齢者向けの健康運動教室

健康運動心理専攻では、地域高齢者が自主的に行っている健康運動サークルに対して、体力測定や体操などの支援を行っています。体力テストでは、足腰の強さを評価する「歩行能力テスト」や柔軟性をチェックする「体前屈テスト」などを学生達が行っています。また、学生自身で考えたイスに座ってできる体操・ストレッチングや認知症予防ゲームなどを行っています。



NEWS & TOPICS 03 臨床・発達心理実習1

大津少年鑑別所を訪問

臨床・発達心理実習1では、他者を理解しつつ臨床的に関わっていくということがどういうことなのかを体験的に学びます。現場でしか学べない「臨床の知」を深めていくのがこの授業の狙いです。学内でのオリエンテーションのち、現場における他者理解について学ぶことを目的として大津少年鑑別所を訪問しました。司法における少年の心理支援について、所長先生と活発な質疑応答を行いました。

今後は、地域で募集されているボランティア活動のうち、心理的支援に関わるものに参加し、現場での支援の実態を学んでいきます。

NEWS & TOPICS 04 プロジェクト演習 A

在日外国人支援事業に参加

プロジェクト演習 A の一環で、学外での、在日外国人支援事業に参加を希望し、東近江市で活動しておられる CUBE DA AMIZADE（クルーベ ダ アミザジ）さんの日本語教室にて、日本在住の外国籍のお子さんの学習支援に携わらせていただいています。

第1回の参加は5月下旬よりスタートしました。お子さんがまだ小さいのと勉強の進み方の違いがあるので、学校での勉強を手伝うことになりました。第2回目はすぐろく遊びもすることになり、子どもたちと仲よく過ごす姿が印象的でした。

